

Nuclear Free Now

脱原発世界会議 2

2012年12月16日 (日)

**テーマC (脱原発社会のつくり方) 4
自然エネルギーと分散型社会への道筋はこれだ**

古屋 将太

環境エネルギー政策研究所 (ISEP)

自然エネルギー

地域の資源を再生可能な範囲で使うエネルギー



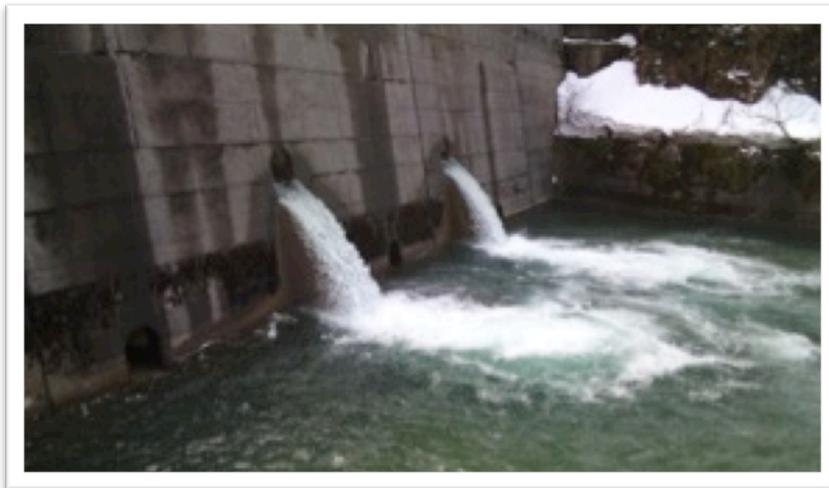
風力



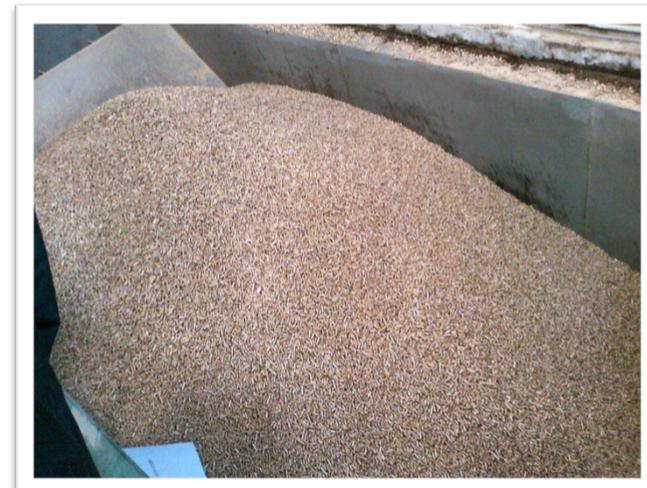
太陽



地熱



小水力



バイオマス

地域エネルギーの考え方

4つの主要な活動領域



21世紀型エネルギー社会の方向性

20世紀型

21世紀型

中央集権

地域分散

供給プッシュ

需要プル

ヒエラルキー

ネットワーク

化石燃料＋原子力

**自然エネルギー
省エネルギー**

経済成長

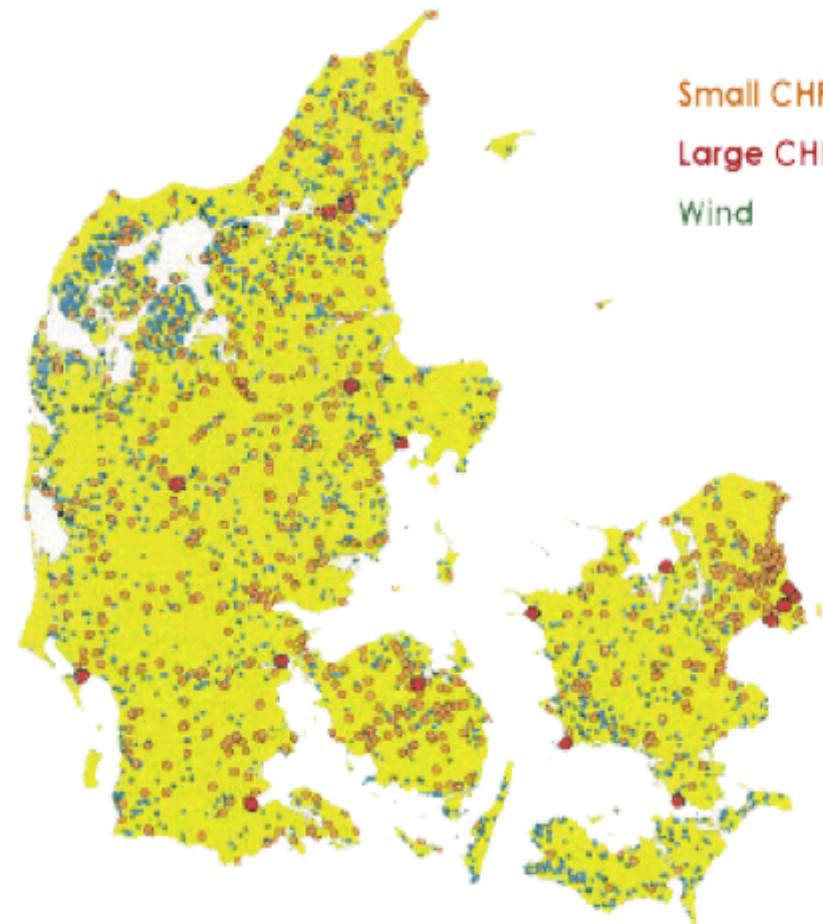
充足・公正・幸福

デンマーク 分散型エネルギーシステムへの変容

Centralized System of the mid 1980's



More Decentralized System of Today



Small CHP
Large CHP
Wind

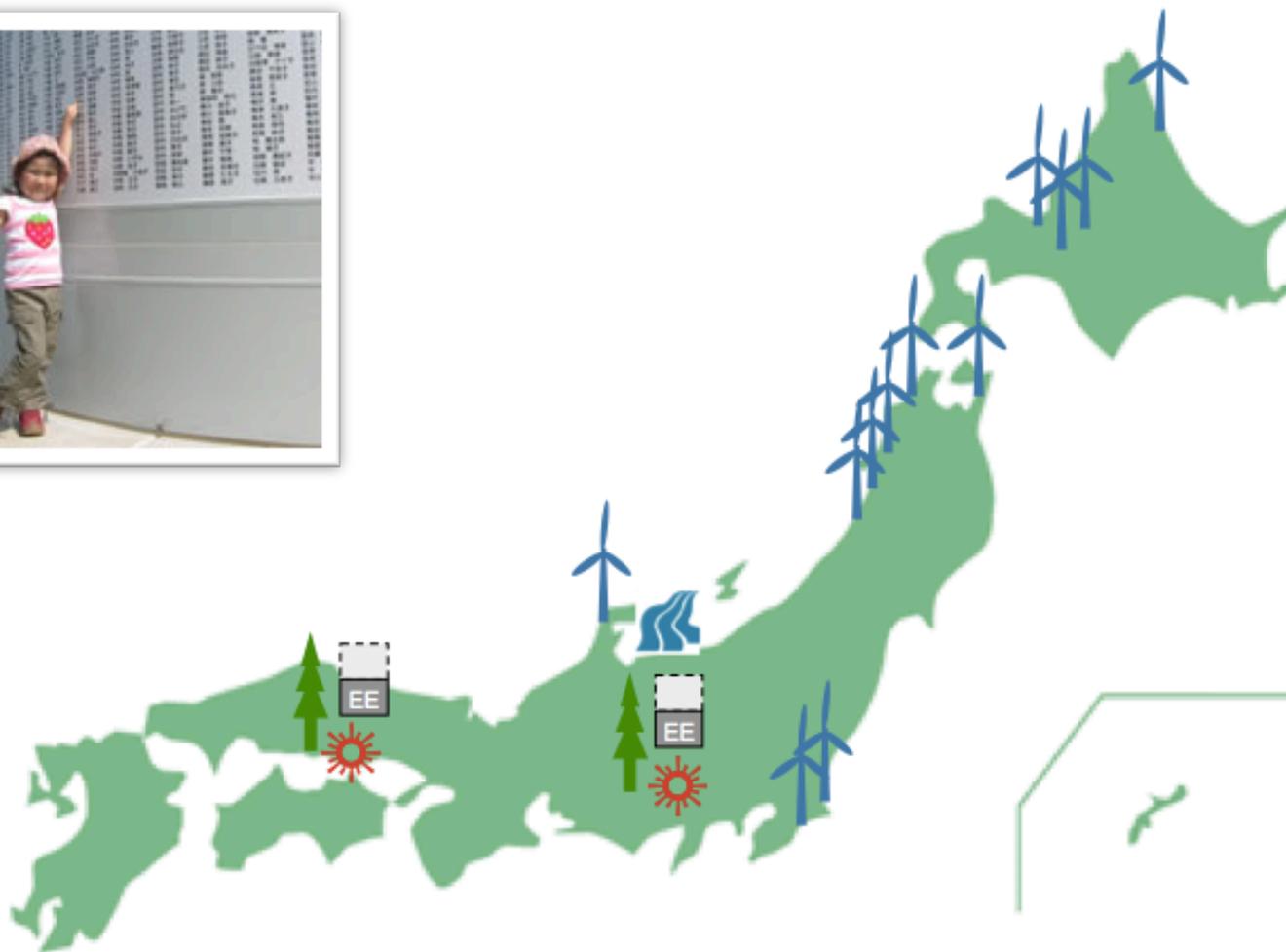
地域自然エネルギー事業

市民出資による地域自然エネルギープロジェクト



地域自然エネルギー事業

- 6,000人以上が出資、合計で約38億円
- 一口あたり10万円 or 50万円



地域エネルギーのオーナーシップ

コミュニティ・パワーの三原則

1. 地域の利害関係者がプロジェクトの大半もしくはすべてを所有している
2. プロジェクトの意思決定はコミュニティに基礎をおく組織によっておこなわれる
3. 社会的・経済的便益の多数もしくはすべては地域に分配される

※この3つの基準の内、少なくとも2つを満たすプロジェクトは「コミュニティ・パワー」として定義される

環境省 地域主導型再生可能エネルギー事業化検討業務

- ・ 地域で再生可能エネルギー事業を推進する体制をつくる
- ・ 地域のエネルギー事業体を立ち上げ、本事業終了後に地域エネルギー事業が実施されることが目標
- ・ 具体的な事業計画を作成し、資金調達先を模索し、開かれた社会的合意形成をおこない、事業を実現する
- ・ 全国から公募、選考の結果、7地点が採択される
 - 北海道（石狩市・ニセコ町）
 - 小田原市
 - 長野県
 - 静岡市
 - 徳島県
 - 高知県
 - 雲仙市小浜町



環境省 地域主導型再生可能エネルギー事業化検討業務

15の地域が取り組みを展開中



Community Power Project AKITA

秋田県内のコミュニティ・パワー形成に向けた「場」作り



詳細は <https://www.facebook.com/CPPAKITA> もしくは <http://cppakita.tumblr.com/>

Community Power Project AKITA

秋田県内のコミュニティ・パワー形成に向けた「場」作り



詳細は <https://www.facebook.com/CPPAKITA> もしくは <http://cppakita.tumblr.com/>

Community Power Project AKITA

秋田県内のコミュニティ・パワー形成に向けた「場」作り



詳細は <https://www.facebook.com/CPPAKITA> もしくは <http://cppakita.tumblr.com/>

Community Power Project AKITA

秋田県内のコミュニティ・パワー形成に向けた「場」作り



詳細は <https://www.facebook.com/CPPAKITA> もしくは <http://cppakita.tumblr.com/>

地域自然エネルギーの政策文化 (Policy Culture)

さまざまな人たちの参加が必要だが、それぞれ考え方が違う

ドメイン

	政治家	行政	事業者	金融機関	研究機関	NPO	市民
--	-----	----	-----	------	------	-----	----

言説次元	指揮	秩序	収益	信用	客観性	正当性	透明性
------	----	----	----	----	-----	-----	-----

制度次元	意思決定	計画	実装	投融资	評価	例示	選択
------	------	----	----	-----	----	----	----

個人次元	関与	形式	商業	手続き	科学	革新	参加
------	----	----	----	-----	----	----	----

地域エネルギーの基本的な考え方

1. 取り組みの全体見取り図

- 政策
- プロジェクト
- スケジュール

2. 核となる「人」と「場」

- コーディネーター
- 地域エネルギー協議会

3. ネットワーク

- 国内外の他の地域との情報交換

まずは、「人」が集まり、
取り組みをはじめる「場」を作りましょう